

第166回 ふじのくに防災学講座

日時 令和6年9月21日(土) 10時30分～12時00分

会場 静岡県地震防災センター2階ないふるホール

(静岡市葵区駒形通5丁目9-1)

次 第

1 講 演 10時30分～11時55分

テーマ： 海底に記録される地震・津波の記録

講 師： 東海大学 海洋学部 横山 由香 助教

講演概要

地震大国である日本では、近年でも2011年東北地方太平洋沖地震、2016年熊本地震、2018年北海道胆振東部地震、2024年能登地震が発生し、各地に被害をもたらした。災害時には、各地域に災害による地質記録が残る。その記録から、現在から過去に至る災害史を明らかにすることで、防災・減災に向けた情報を発信できる可能性がある。特に、2011年および2024年の地震では、それに伴い津波も発生し、沿岸域は大きな被害を受けた。2011年地震では、発生直後から海域から陸上にかけて多くの調査が行われ、災害による様々な痕跡が確認された。今回は海底から読み解く災害記録について紹介したい。

2 質疑応答 11時55分～12時00分

3 閉 会 12時00分